

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	子どもの広場 桑名		公表日			
			2025年 1月 24日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	7	・利用人数や状況に応じて1階/2階に分かれたり戸外活動を行う等工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	2	・シフトを立てる段階で適切な人数配置になるよう調整している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	4	・賃貸物件である為バリアフリー化は難しい。 ・物品の置き場は写真等を用いて視覚的に分かりやすくしている。階段には手すりが設置されており、プレイルームの床はマットで保護している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	17	0	・日常的に換気や掃除、消毒を行っている。 ・公文や学習スペース、プレイルームなど児童の活動に応じて各部屋を使用している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	16	0	・利用者の状況や状態に合わせ、部屋の移動等を行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	16	0	・朝礼や会議等で利用者様の支援状況や個々の状態、各担当職員の業務の進捗など報連相を行い、質の向上や円滑な業務遂行を目指した振り返りを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17	0	・事業所アンケートの回答を保護者に依頼し、会議等で周知された後、業務改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	・朝礼や会議だけでなく必要時には職員間で相談や情報共有を行い、改善に繋げている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	0	・研修機会の提供があり、オンライン研修への参加や必要に応じて研修休暇の利用が可能である。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	16	0	・作成している個別支援計画書を個人のファイルに入れ込み職員全員が確認、把握できるようにしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	17	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	17	0	・朝礼や会議等で検討、周知されている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	17	0	・個人ファイルで個別の支援計画の確認が可能であり、計画に基づいて支援を行う事が出来ている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	16	0		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16	0	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	1	・多職種が介入し、実施することが出来ている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	1	・活動計画書を作成し、同じ内容ばかりにならないよう工夫している。 ・季節に応じてイベントを開催する等の工夫をしている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	16	0	・児童に合わせて計画され、適宜実施している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	16	0	・朝礼等で情報共有され、連携して支援している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	5	・勤務時間帯が職員により異なる為、翌日の朝礼（職員全員が参加できる）にて情報共有が行われている。ただし、急を要する案件に関してはその日のうちに共有される。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	17	0	・日報（出席表）を用いて記録の漏れがないよう確認を行っている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16	0	・モニタリングは日程を決めて実施しており、その都度計画の見直しを行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	14	0	・保護者の意向や個々の様子に合わせて行っている。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	16	0	・適宜、複数の選択肢を提示し、利用者の自己決定の場を設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	0	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	1	・関係機関からの見学の問い合わせの受け入れや適宜情報共有を行うなどしている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	15	0	・各利用者様の利用日及び利用時刻に関する予定を学校と共有することで円滑な送迎を目指している。また、送迎時に情報共有を行っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	12	1	・相談支援事業所職員や保護者を通じて情報共有を行っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	12	1	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	14	1	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	11	・戸外活動時に事業所外の児童と交流できる場面がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3	・圏域連絡会に積極的に参加している。

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	16	0	・利用者様をご家族（またはそれに準ずる保護者指定の人物）にお引き渡しする際、その日の活動写真を用いるなどして事業所での様子をお伝えしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	3	・ブレインジムや家族応援セミナー等の家族支援の案内を行っている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16	0	・運営規定についてはどなたでも閲覧できるよう、ファイルに閉じて来所スペースに常備している。また、その他契約時（必ず）など都度必要に応じて説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	16	0	・計画作成後、説明を行い同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	17	0	・適宜相談に応じ、検討や対応を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	13	・機会があれば行いたい。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16	0	・速やかに対応し、朝礼等で周知徹底している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	19	0	・写真を施設内に掲示、Instagram等のSNSを活用するなど、日々の活動内容等を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	17	0	・同意書を取り十分留意している。 ・鍵付きの書庫で管理し、取り扱いに注意して職員で周知している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	17	0	・言語コミュニケーションだけでなく、マカトンの使用など非言語コミュニケーションを活用し配慮、工夫をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	11	・機会があれば行いたい。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	2	・月に一回以上、災害を想定した避難訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	1	・月に一回以上、施設内外で防災訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15	0	・事前に保護者に確認を取っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15	0	・食物アレルギーに対して保護者に確認の書類を記入して頂いており、職員で周知している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	6	・現在作成中です。3月末までに完成し迅速に対応します。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	4	・現在作成中です。3月末までに完成し迅速に対応します。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	0	・再発防止のために朝礼や会議等、その都度情報共有されている。	

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	0	・定期的に研修が行われている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	14	1	・契約時、計画の更新時に丁寧に説明を行った上で計画に記載している。	